

「手立て一覧表」の中で、分かりづらいと思われる手立てについて、事例を紹介します。

D 振り返る

ステップ②へ進みたい方に、おすすめの手立て(例)

s キーワード（指導事項等）を用いて学習をまとめることで、学びを確かなものにする。



今日（この単元）は、「〇〇」（指導事項）について学習しましたね。「〇〇」という言葉を使って、振り返りを書きましょう。

ふり返り
この学習では、すぐれた表現に着目して読むこと
と読んで感じたことを感想に書くのが学習課題で
した。感想は深くまで読むことと、他に難しい物語につ
いても書けると分かりました。他に機会があったら

⑬ この単元では、説得力のある意見文をかいた。
そのためには自分の考えを調べた情報、反論に
対する考えなど全ての情報を整理して構成を考
えることが大切だった。これから文を書くときに、

j' 到達基準を基に学習を振り返らせることで、自分の学びを実感できるようにする。

児童に示した到達基準

◎（十分満足）

見出しを付ける際のポイントを生かして見出しを付けることができる。さらに、グループの話し合いで友達の見出しに対してアドバイスをすることができる。

○（おおむね満足）

見出しを付ける際のポイントを生かして見出しを付けることができる。

児童の自己評価

今日は、記事の見出しを考えました。思いや伝えたいこと、記事の話題を入れて見出しを書きました。友達に伝えるアドバイスも言うことができたので ◎ です。

D

振り返る

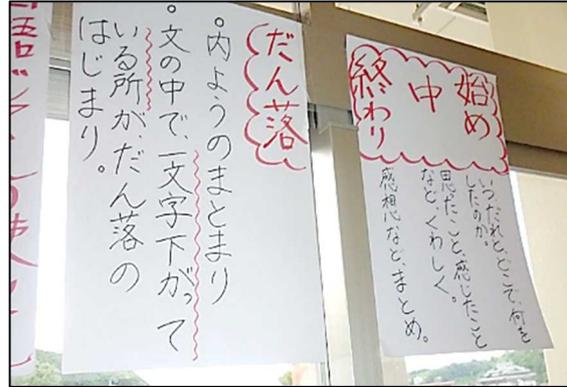
ステップ③へ進みたい方に、おすすめの手立て(例)

習得した知識及び技能、考え方等をカードやファイル等に蓄積させておくことで、次の学習でも活用できるようにする。

(例) 学習したことを模造紙に整理し、掲示する場合

場合

掲示した模造紙は単元後外しますが、後の単元の活用できる場面で、適宜再掲示すると、より効果的です。



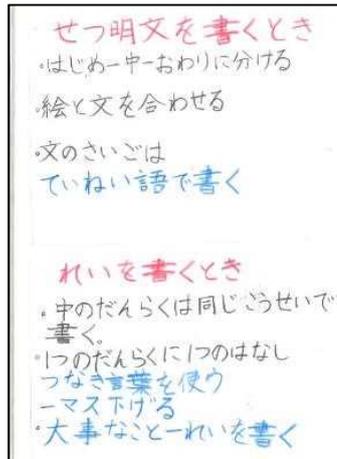
段落の構成に関する掲示物

(例) 学習したことをカード化し、ファイリングする場合

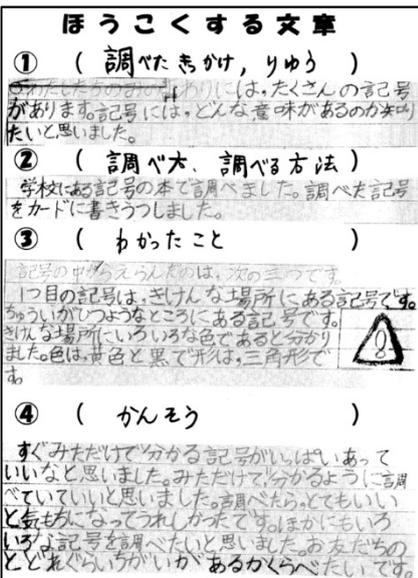
ファイルに、指導事項に関するカードを蓄積した例です。「わざノート」として、各自手元に置くと、必要に応じて見返すことができます。異なる領域でも活用できるので、便利です。



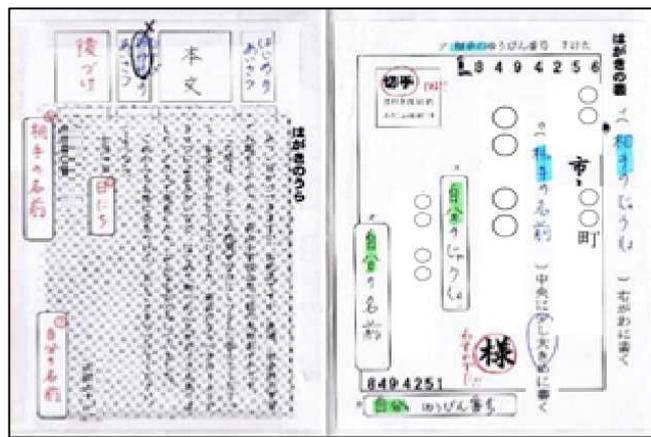
ファイル



指導事項について、児童から出た言葉を基に記入



模範的な児童の作品をコピーして貼付



教科書のモデル文や教師自作のモデル文を貼付